

とっとと通信

2025年10月24日発行

271号

「とっとと通信」は
田舎でとつつ。
いつも読んでいただき
ありがとうございます。

こんにちは！平川です。銀杏の葉が金色に染まり、秋の深まりを感じるとなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。さて、そういえば最近は見かけませんが、昔ヤンキーが車の車高を落とすのって何といいましたっけ？えっと…あー、そうそう、シャコタンです。先日、妻と北海道のシャコタン（積丹）半島へ行ってきました。

では今月もはりきっていきましよう。先日、妻と北海道へ行ってきました。小樽市と積丹半島の観光と食事が目的です。小樽市の人口は10万人ちょっとで糸島市とほぼ同じですが、あまりの活気に驚きました。駅前には大きなホテルが立ち並び、飲食店は平日なのに、どちらにもぎわっています。かつては日本銀行小樽支店をはじめ、都市銀行の支店が多数あったそうで、「北のウォール街」と呼ばれていたようです。その頃の名残りが、歴史的建造物がいくつもあり、どこかヨーロッパを思わせる、港や運河が調和した

美しい街でした。食事は三角市場の海鮮丼、秘密のケンミンショーで紹介された若鶏半身揚げをいただきました。小樽で二泊し、翌日はレンタカーで積丹半島へ。その道中のことです。道路に紅白のシマシマ矢印が下向きに設置されているのです。しかも約100メートルの間隔で、延々と何キロもあります。なんだこれはと思い、矢印が示す路上を見ても何もありません。おそらく雪に関する何かだろうとは思いますが、まさかこの高さまで雨音が積もります。の目印とも思えず。いったい何だと思っていますか。実はこれ正式名称は「固定式視線誘導柱」といい、通称「矢羽根付きポール」。大雪が降ると道路の境界線が見えなくなり、吹雪で視界もなくなります。とても危険です。そんな時、この矢印が路肩の位置を教えてくれるのです。



道路外へコースアウトするのを防ぎます。なるほどですね。でも車線が見えない中、矢印だけを頼りに運転するのも怖いですけどね。そして積丹岬の島武意海岸へ着きました。日本の渚百選に選ばれた海岸です。100メートルほどの暗い歩行者用のトンネルを抜けると、いきなり鮮やかなコバルトブルーの海が飛び込んできます。息をのむ美しさでした。ただこんな看板があったのです。近くで熊の痕跡が見つかったとのこと。写真撮っている時も、背後が気になって仕方ありませんでした。でも観光客は次から次へと来るし、また近くのレストランは通常のように営業をしていました。食も文化も九州では味わえないものを堪能できました。恐るべし北海道。



でもどれほどの距離かピンとこないと思います。例えば福岡からですと南へ行けば熊本市まで。東へ行けば下関よりまだ先です。これを制限時間26時間以内に歩くのですから、人間の力ってすごいなあと思います。さてこの大会を知ったのは18年前、仕事中にたまに付けたラジオから、100キロウォークに参加された方のインタビューが流れたのです。参加費と交通費を払い、痛い思いをしてまで100キロを歩くという、理解できないことに驚いたのです。当時ウォーキングにまったく興味はなかったのですが、その理由が知りたくて参加しました。そしてゴールで何とも言えない感動を味わい、それ以来どっぷりと長距離ウォークにはまっています。今年は熱中症になりかけましたが、なんとか18時間52分でゴールしました。帰りに博多駅のお店で打ち上げをするのも楽しみの一つ。なにはともあれ、この歳にもなると仲間とワクワクすることがあるのは幸せな事です。

発行／有限会社アサム 平川雅樹
〒819-1127 福岡県糸島市有田中央 2-14-36
☎: 092-321-4001 ✉: hirakawa@asam.jp
・伊都倫理法人会ブログ : <https://itorinri.com/>